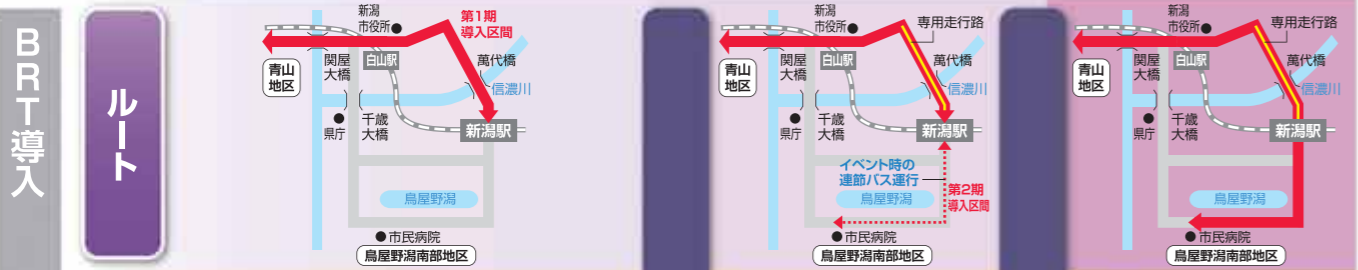
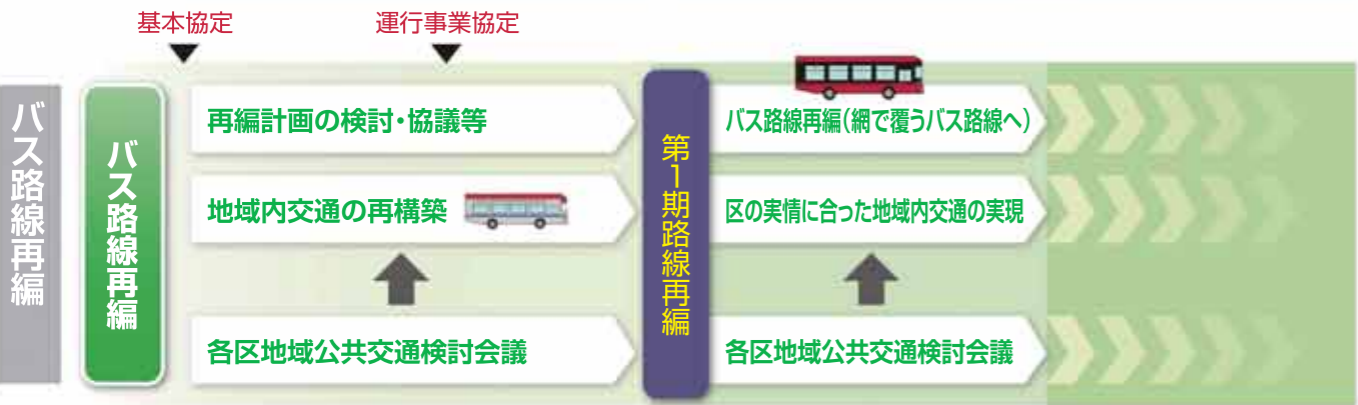
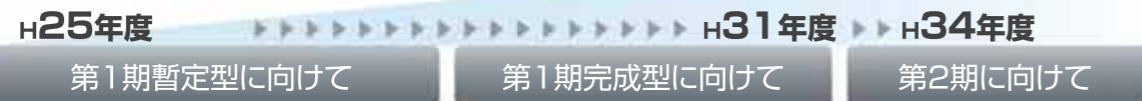


新バスシステム 段階的な整備スケジュール

公共交通体系の成長



お問い合わせ
 新潟市役所 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
 【担当課】 都市政策部 新交通推進課 電話:025-226-2753(直通)/FAX:025-229-5150/E-mail:shinkotsu@city.niigata.lg.jp
 都市政策部 都市交通政策課 電話:025-226-2723(直通)/FAX:025-229-5150/E-mail:kotsu@city.niigata.lg.jp
 URL: http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/index.html
 平成25年10月修正



新バスシステムによる新しい公共交通

NIIGATA NEW TRANSIT SYSTEM

私たちを取りまく社会環境は、超高齢社会、環境、健康など、さまざまな課題を抱えています。新潟市が取り組もうとしている新バスシステムは、それらの課題に対応するため、将来にわたって市内を公共交通で移動しやすくするものです。



新潟市のバス交通の現状

1 この20年で、バスの利用者が **3分の1**に。

2 この10年ほどで、バス運行便数が **20%減少**。

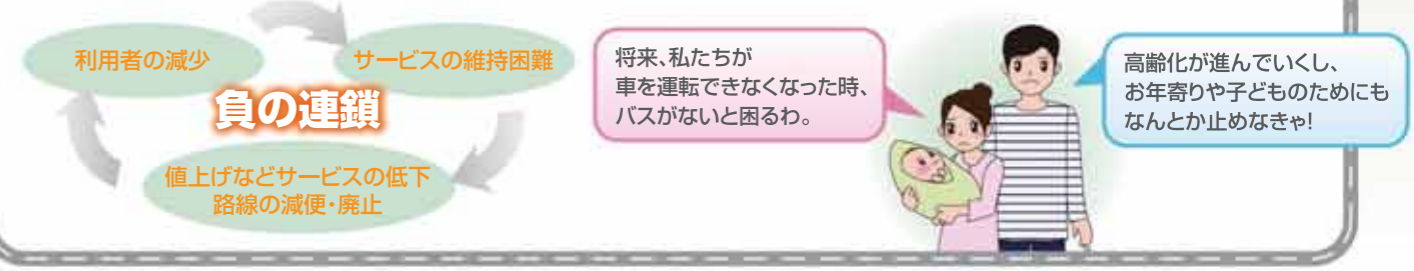
健康を考えると、マイカーに頼りすぎず歩いたり公共交通を使ったりすることも大切だね。

移動に車を使う人が7割もいるんだって。

そんなに減ってるの？この先もどんどん減るのかな？

廃止されたり、行政が運行支援したりしている路線もあるニャ。

このままでは「負の連鎖」が止まりません。



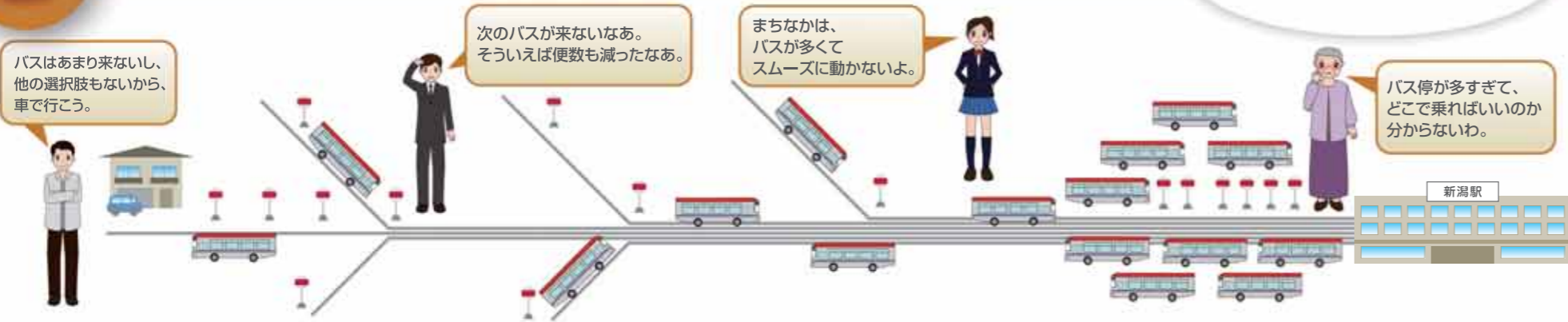
新バスシステムについて、詳しくは中面で！

新バスシステムで、持続可能な公共交通へ

いままでは、**線。**

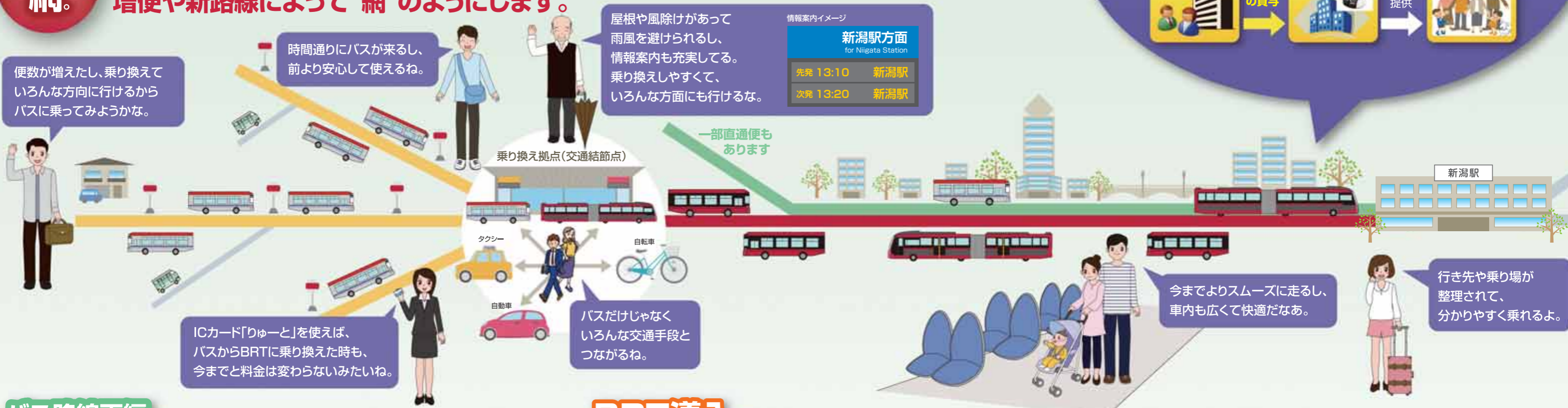
すべての路線が郊外からまちなかに向かい、1台のバスが長い一本の“線”を走っています。

このような運行では「負の連鎖」が止まりません。



これからは、**網。**

公設民営方式によりBRTを導入し、郊外からのバスを乗り換え 拠点や鉄道へ結び、増便や新路線によって“網”のようにします。



新たな事業スキーム「公設民営方式」とは?

連節バスや乗り換え環境を市が整備し、交通事業者に貸与することで、交通事業者の初期投資を軽減できます。また新潟市が交通事業者と協働体制を確立して、バス交通に関わり、より良いサービスを継続的に提供できるようになります。



バス路線再編

再編のメリット

- ◎ 郊外線の増便 (終バスの時刻が遅くなる)
 - ◎ 乗り換え拠点を各地に設け、多方面へ行きやすくなる (乗り換え拠点は様々な交通手段と連携)
 - ◎ バス路線を短い区間の組合せにして定時性を確保する
- ➡ サービスが持続可能なものになる。



再編のデメリット

× 路線によっては乗り換えが生じる

デメリットへの対応

- ★ 風雨に当たらずに乗り換えが可能
 - ★ バス位置や出発時間が分かってストレス軽減
 - ★ 増便により乗り換え時の待ち時間を減少できる
 - ★ ICカード「りゅうと」を活用して運賃をアップさせない
- ※現在直通で行ける路線で再編後に乗り換えが生じる場合

BRT導入

車両



情報案内の充実



乗り換え拠点(交通結節点)



BRT駅、車両内、携帯端末で運行情報を確認でき、出発時刻やバスが今どこを走っているかを把握できます。

専用走行路



さらに運用開始後は...